

令和5年

第13回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和5年12月20日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第13回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年12月20日（水） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1 番 渡 部 誠	2 番 小 檜 山 浩 子	3 番 大 月 喜 裕
4 番 高 橋 二三雄	5 番 鈴 木 範 政	6 番 鈴 木 正 晃
7 番 遠 藤 正 浩	8 番 丸 山 之 子	9 番 二 瓶 公 司
10 番 浦 大 輔	11 番 安 達 壽 人	12 番 土 屋 勇 雄

農地利用最適化推進委員

14 番 氏 田 泰 昭	15 番 岸 本 恵里子	16 番 関 和 慎 一
17 番 古 川 昭 一	19 番 鵜 浦 正 俊	20 番 小 檜 山 正 次
22 番 神 庄 也	24 番 小 檜 山 慶一郎	

4. 事務局 局長 長谷川 勲 主幹 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午前9時30分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第13回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、12月1日告示し、同日付で、農業委員及び関係する農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員12名、全員出席であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、招集告知を申し上げた委員は、10名であります。

出席委員8名、欠席委員2名、うち届出欠席2名、

欠席委員は、13番 笹岡 正人 委員、21番 桑原 富男 委員であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認め、

5番 鈴木 範政 委員

9番 二瓶 公司 委員の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第13号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第46号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第47号 農用地利用集積計画の決定について

議案第48号 農用地利用集積等促進計画（案）の意見について

議案第49号 荒廃農地に係る農地・非農地の判断について

以上、5件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第13号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

報告第13号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。

この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

2 頁をご覧ください。

No.1 の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、解約理由は、農地を売買するためであります。

No.2 の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、解約理由は、農地を返還するためであります。

No.3 の貸付人は、福島県農業振興公社、借受人は〇〇の〇〇 〇〇であり、解約理由は、耕作者を変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりです。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件にきましては報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

○4 番（高橋二三雄 農業委員）

今ほどの報告があった案件の中に、解約理由の報告がありましたが、特に理由なく所有者に農地が戻された場合、今後の耕作についてどうなってしまうのか、あるいは遊休化してしまうのではと危惧されますが、その辺のところはどうなっていますか。

○事務局（渡部 主事）

合意解約につきましては、ほとんどが所有者の理由により、今後の農地の売買や耕作者の変更のため、現在の契約をいったん解約しないと、次の手続きに進めないため解約するものであり、所有者に戻ったとしても、次の売買や譲渡による譲受人や耕作者を確認したうえで、総会に上程しております。

○事務局（長谷川 局長）

補足説明をさせていただきます。

今回の合意解約につきましては、No.1 については、いったん合意解約をしたのち、公社売買による所有権移転が行われる案件でございます。

また、No.2 につきましても、いったん解約したのち、次の耕作者に貸付けるための解約であります。

No.3 につきましても、公社から借受者に貸付けられていた農地を、いったん公社と借受者の間で解約をした後、所有者まで戻すのではなく、公社から新たな借受者へ再転貸するための解約であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

私からも説明しますと、合意解約については、私も注意して議案書を確認しているのですが、ほとんどは新たな契約をするための解約であり、「耕作が出来なくなったので、所有者に返しますよ」と言うものではありませんので、ご承知おきください。

○4 番（高橋二三雄 農業委員）

はい、了解いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第46号「農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第46号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。
この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

4 頁をご覧ください。

No.1 の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は大字〇〇
字〇〇2632 番 3 畑 1 筆 156 m²を、無償で贈与するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局
として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1 の調査員であります19番 鵜浦 正俊 推進委員
に報告を求めます。

○19番（鵜浦正俊 推進委員）

議案第46号のNo.1について、令和5年12月10日、申請人 〇〇 〇〇 氏の自宅を訪問
し、調査書に基づく調査を実施したので報告します。

本申請の譲渡人 〇〇 氏は、高齢のため生前に農地を処分したいとの意向で、該当農地付
近を現在耕作している 〇〇 〇〇 氏へ贈与により所有権移転する運びとなったものであり
ます。

申請に対する調査の結果としましては、 〇〇 氏は農業に常時従事することができると共に

農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

本件の担当農業委員は、私ではありますが、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第46号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第46号のNo.1は申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第47号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第47号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものがあります。

6頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

なお、今回は件数が多いため、貸手及び借手、筆数、面積のみ読み上げさせていただきますので、契約期間及び10a当たり賃借料等につきましては、議案書にてご確認願います。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,000㎡を

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 5,556㎡を

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 3,998㎡を

No.4は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の有限会社 〇〇〇〇に、田 12筆 32,646㎡を

No.5は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 6,926 m²を
 No.6は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 9筆 21,697 m²を
 No.7は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 8筆 17,570 m²と 畑
 1筆 1,000 m²を
 No.8は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 15,220 m²を
 No.9は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 1,486 m²を
 No.10は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 25筆 16,411 m²を
 No.11は、〇〇の〇〇 〇〇 外2名が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,214 m²を
 No.12は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 4,546 m²と 畑
 1筆 1,143 m²を
 No.13は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 13,650 m²を
 No.14は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 3,705 m²を
 No.15は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 3,003 m²を
 No.16は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 3,426 m²を
 No.17は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外2名が、〇〇の〇〇 〇〇
 に、田 1筆 5,398 m²を
 No.18は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 8筆 18,445 m²を
 No.19は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 18,719 m²を
 No.20は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,470 m²を
 No.21は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,470 m²を
 No.22は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 12筆 18,166 m²を
 No.23は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 4,696 m²を
 No.24は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 3,881 m²を
 No.25は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 12,100 m²を
 No.26は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 4,273 m²を
 No.27は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 12筆 20,909 m²を
 No.28は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 6筆 21,077 m²を
 No.29は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 4,183 m²を
 No.30は、〇〇の〇〇 〇〇 成年後見人 〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田
 4筆 4,666 m²を
 No.31は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 13,212 m²を
 No.32は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 4,760 m²を
 No.33は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 7,325 m²を
 No.34は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,107 m²を
 No.35は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,800 m²を
 No.36は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,737 m²を
 No.37は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 7,731 m²を
 No.38は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 5,754 m²を
 No.39は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 6,013 m²を
 No.40は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,584 m²を
 No.41は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 500 m²を

No.4 2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,750 m²を
 No.4 3は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 296 m²を
 No.4 4は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外2名が、〇〇の〇〇 〇〇
 に、田 6筆 11,231 m²と 畑 8筆 3,776 m²を
 No.4 5は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 7筆 10,013 m²を
 No.4 6は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 10筆 18,110 m²と 畑
 2筆 1,947 m²を
 No.4 7は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,310 m²を
 No.4 8は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の株式会社 〇〇〇〇に、田 6筆 11,885 m²を
 No.4 9は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 5,914 m²を
 No.5 0は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 1,492 m²を
 No.5 1は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 8,893 m²を
 No.5 2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 6,746 m²を
 No.5 3は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 5,660 m²を

それぞれ貸し付けるものであります。

次に30頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社買入れ分であります。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇で、大字〇〇字〇〇248番1 外1筆 田 3,045 m²を
 10a 当たり 380,000 円で、福島県農業振興公社が買入れるものであります。

次に31頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

本件につきましても、今回対象件数が多いため、農地所有者、筆数、面積及び公社からの借受者のみ読み上げさせて頂きしますので、契約期間及び10a 当たり賃借料につきましては、議案書にてご確認願います。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 5,068 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.2は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 843 m²を 〇〇の〇〇〇〇 株式会社に
 No.3は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 991 m²を 〇〇の株式会社 〇〇〇〇に
 No.4は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 3,460 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.5は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 2,265 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.6は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 991 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.7は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 3,724 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.8は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 3,138 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.9は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 5筆 14,777 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に
 No.10は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 1,573 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.1 1は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 1,741 m²を 〇〇の株式会社 〇〇〇〇と
有限会社 〇〇〇〇に

No.1 2は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 2,785 m²を 〇〇の株式会社
〇〇〇〇に

No.1 3は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 4筆 7,147 m²を 〇〇の株式会社
〇〇〇〇に

No.1 4は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 2,042 m²を 〇〇の有限会社 〇〇〇〇に

No.1 5は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 10筆 18,978 m²を 〇〇の農事組合法人
〇〇〇〇に

No.1 6は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 8筆 20,946 m²を 〇〇の〇〇 〇〇と
〇〇の〇〇 〇〇に

No.1 7は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 3,378 m²を 〇〇の有限会社 〇〇〇〇に

No.1 8は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 2,310 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.1 9は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3筆 12,134 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 0は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 16筆 33,696 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 1は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3筆 3,705 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 2は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 7筆 16,937 m²を 〇〇の〇〇 〇〇と
〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 3は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 2,769 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 4は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3筆 7,760 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 5は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 8筆 16,975 m²を 〇〇の〇〇 〇〇と
〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 6は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 12筆 23,229 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 7は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 2,102 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 8は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 6,307 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 9は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 7筆 16,949 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

公社が借受け、借受者に貸し付けるものであります。

次に、42頁から51頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりで
あります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」に
基づき、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査票に基づく調査をお願い
し、また公社売買の所有権移転案件につきましては、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、
農用地利用調整会議への立会いをお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行いますが、議案第47号の利用権設定のNo.19、
機構借入No.1と機構貸付No.1は、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員が、利用権設定のNo.49は、

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員が、議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第４７号の利用権設定No.１９とNo.４９、機構借入No.１と機構貸付No.１以外の案件について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第４７号の利用権設定No.１９とNo.４９、機構借入No.１と機構貸付No.１以外の案件については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第４７号の利用権設定No.１９、機構借入No.１と機構貸付No.１を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

(〇〇〇〇 農業委員 退席)

それでは、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第４７号の利用権設定No.１９、機構借入No.１と機構貸付No.１について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第４７号の利用権設定No.１９、機構借入No.１と機構貸付No.１については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

(〇〇〇〇 農業委員 出席)

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案第４７号の利用権設定No.１９、機構借入No.１と機構貸付No.１については、原案のとおり

可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第４７号の利用権設定No.49を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 退席）

それでは、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第４７号の利用権設定No.49について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第４７号の利用権設定No.49については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 出席）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案第４７号の利用権設定No.49については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第４８号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」を議題いたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第４８号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」説明いたします。

この議案は、農地中間管理事業の推進に関する法律第１９条第３項の規定により、猪苗代町長から農業委員会の意見を求められたので審議をお願いするものであります。

５３頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社貸付（再転貸分）であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 1筆 3,787 m²を 10 a 当たり 17,000 円で

No.2は、〇〇の株式会社 〇〇〇〇に 田 7筆 21,264 m²を 10 a 当たり
12,000 円で

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 8筆 14,762 m²を 10 a 当たり 13,500 円で

No.4は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 7筆 11,776 m²を 10 a 当たり 13,500 円で

公社が貸し付けるものであります。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第48号について、「異議ない」旨回答することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第48号については「異議ない」旨回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第49号「荒廃農地に係る農地・非農地の判断について」を議題と
いたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第49号「荒廃農地に係る農地・非農地の判断について」ご説明いたします。

この案件は、農地法第2条第1項の「農地」に該当するか否か、猪苗代町長から農業委員会
の決定を求められたので、審議をお願いするものであります。

57頁をご覧ください。

本件の対象地は、No.1の字〇〇106番からNo.10の大字〇〇字〇〇41番までの 計10筆
7,658 m²で、内訳としては田 3筆 1,420 m²と 畑 7筆 6,238 m²について、所有者本人か
ら非農地通知書の交付申出のあった土地であり、11月に行った農地パトロールにおいて現地
調査を実施し、調査に当たった委員全員の意見として、荒廃区分が「B分類」の山林・原野化し
た「復元不可能」な土地と判断し、その結果を基に提案するものであります。

なお、この案件は、平成20年4月15日付け農林水産省経営局長通知「耕作放棄地に係る
農地法第2条第1項の農地に該当するか否かの判断基準について」に基づき判断し、提案して
おります。

また、農地法第2条第1項で、農地とは「耕作の目的に供される土地及び採草放牧地」と規定しておりますので、この「農地」に該当するか否かについて審議をお願いするものであります。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明にあったとおり、所有者本人から非農地通知書の交付申出のあった土地であり、11月に行った農地パトロールにおいて、それぞれ担当地区の委員が現地確認をしておりますので、調査報告は行いません。

それでは、議案第49号の全筆について、農地法第2条第1項の「農地」に該当するか否かについて、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

本件のように、農業委員会で非農地と判断した場合、これらの土地は今後法律的にどのような処理と経過を辿るのか、法的な扱いについてお伺いします。

○事務局（佐藤 主幹）

今回の農地・非農地の判断については、今回の議決により非農地と判断された場合は、今後農業委員会より「非農地判断通知書」を所有者本人に送付し、地目変更登記を要請することになります。

地目変更登記を行うためには、農業委員会で交付する「現況確認証明書」の添付が必要なため、改めて所有者本人より証明の交付申請書を提出していただき、農業委員会では既に非農地判断済の農地ですので、会長名で証明書をお出しすることになります。

法務局での地目変更登記により、農地以外の地目になった場合は、農地ではなくなりますので農業委員会の管轄からは外れることになります。

その後の、法的な扱いについてのお尋ねですが、地目変更登記が行われた後、登記済通知書という形で、町税務課に情報が来ますので、町税務課でも変更後の地目で妥当な土地の評価を行うため、現地調査を行なって評価を決定することになります。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

はい、了解しました。

○3番（大月喜裕 農業委員）

過去に非農地の判断を受けても、所有者本人が地目変更登記を行わず、農地のまま残っている土地が、〇〇地区には沢山有るようだが、その様な土地はどのような処理になりますか。

○事務局（佐藤 主幹）

地目変更登記が行われない限り、登記地目は農地のままですので、改めて地目変更登記を行っていただく必要があります。その場合でもやはり農業委員会の「現況確認証明書」の添付が必要となりますが、過去に非農地の判断を受けているのであれば、いつでも証明書はお出しす

ることが出来ます。

○3番（大月喜裕 農業委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第49号の全筆について、「非農地」と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第49号の全筆は、原案のとおり非農地と決定されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和5年 第13回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午前10時18分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年12月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人